

平成 20(2008)年度 年賀寄附金配分申請書【活動・チャレンジプログラム】

事業名

就業と社会参加を目的とした、主に重度障害者による在宅障害者へのIT支援。

目的

1. 移動困難な障害者に、就業と社会参加への希望がある。
2. " " の、自立支援法の就労支援には移動という問題があり参加が困難な場合が多い。
3. 過疎地の多い愛媛県では地域で孤立している障害者が居る。

これらの人へ当NPOが育成した重度障害者を派遣し、就業や社会参加に必要なIT支援を行う。

8月末までの途中経過

新居浜市

7月15日 打合会

場所 新居浜総合福祉センター 障害者相談員3名参加

8月2日・9日・23日・30日

ムーバブルタイプの講習会開催。

参加者は、県内4市より、重度者6名・軽度者2名



新居浜地区の講習会は、準備が整い次第開始。

西条市はCAD講習を9月末3日間実施

松山市

8月25日 在宅重度のI氏宅(松山市石手)を訪問、

ホームページ作成の講師としてSさんが月1回の訪問とリモートコントロールを使った講習を決定した。内容はホームページ作成をより高度に、9月より実施。

八幡浜市

7月16日、えひめ障がい者就業・生活支援センター主催 関係機関との連絡会

8月6日、八幡浜地域の障害者相談員と障害者との話し合い。

場所 地域活動支援センターくじら 3F

9月より、準備でき次第ITの講習を週1回4日間をはじめる。

課題)講師を見つける

特定非営利活動法人ふうしすてむ
申請事業責任者・理事 二神重則

事業名 就業と社会参加を目的とした、主に重度障害者による在宅障害者へのIT支援。

目的と目標

重度障害者にIT講習を行うことにより、就労や社会参加に向かってもらう。
当初は講師を私共が育成した重度障害者を派遣する。
重度障害者のみでなく、地域の障害者の社会参加や就労のグループ拠点を作る。
次年度の講習候補地の情報収集をする。

I) 開催したIT講習と、活動をした重度障害者数

1. 西条市 講師は重度障害者2名、受講者は5～7名(重度2名)
社会福祉協議会の障害者向けのIT研修が始まった。
CAD講習会 3日間
2. 松山市 私共の在宅就業グループの事業に新しく参加した(重度2名)
在宅重度障害者に対するリモートコントロールを使った研修 受講者重度1名
印刷レイアウト講習 3日間 講師重度 受講者5名(重度2名)
発掘遺物トレース講習 6日間 講師重度 受講者5～6名(重度3名)
画像処理研修 1日間 講師重度 参加者・受講者4名(重度1名)
3. 新居浜市
ムーバブルタイプ講習会4日間 参加障害者6～7名(重度4～5名)

II) グループの拠点作り

既にある2地域の主要メンバーとの講習会を通じたコンタクトが出来た。
今期は八幡浜と新居浜で新たなグループの拠点を作るべく活動を行い来期につなげた。

III) 次期講習候補地の情報収集

1. 四国中央市
2. 新居浜市 全くコンタクトのない地域での初めての開催となり、次期につながる講習になった。グループの拠点を目指したい。
3. 八幡浜 他の事業で講習会の開催予定している。グループの拠点を目指したい。
4. 今治市
5. 松山市 施設入通所者(18歳未満)に対するIT研修の協力を予定。

それぞれの地域に障害者のグループ拠点を作ることにより活動の場所が生まれ、また情報が伝わることにより参加する障害者も多くなる。最初は数人からの講習会からでも始めるのがそのきっかけとなると、ここ数年間IT講習会を開催して感じているところです。

グループの拠点を作るには、その地域の障害者相談員の方々の協力が欠かせない。

障害者相談員さんとの情報交換の場を広く設けたい。

重度障害者の社会参加としてITの講師として活躍してもらうのも1つの方法。

グループ員で協力し合いながら出来る活動があれば良い結果が出る可能性がある。(会報の発行・仕事・イベントの参加など)